



International Financial
Information Service

各 位

平成 27 年 1 月 28 日

会 社 名 株式会社アイフィスジャパン
代表者名 代表取締役 大沢 和春
(コード番号: 7833 東証マザーズ)
問合せ先 管理担当取締役 野口 祥吾
(TEL. 03 - 5275 - 6334)

「IPO 取材ノート」の Research Manager への掲載開始のお知らせ

株式会社アイフィスジャパン（本社:東京都千代田区、代表取締役:大沢和春、以下「当社」）は、1月26日(月)より、株式会社キャピタル・アイ（本社:千代田区、代表取締役:高田一子、以下「キャピタル・アイ」）が発行する「IPO 取材ノート」について、当社が運営するレポート閲覧サービス「Research Manager」にて掲載を開始しました。

キャピタル・アイは日本の資本市場の活動を報道するメディアであり、同社のサービスであるキャピタルアイ・ニュースは、国内・海外での発行体による資金調達や金融機関の引き受け活動および投資家動向を中心に関連分野の情報発信を行っており、資本市場関係者の中で幅広く購読されています。

キャピタルアイ・ニュースの主な購読者は、証券会社や発行体など、資本市場の関係者が中心ですが、そのコンテンツの1つである IPO 関連の情報は、機関投資家やアナリストなど流通市場関係者も活用できる内容となっております。

当社とグループ会社であるキャピタル・アイが協業し、既存のサービスに新たな付加価値が加わります。顧客の満足度向上と新規顧客開拓に寄与できる取り組みにしたいと考えております。

本件の詳細については添付資料をご参照ください。

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社アイフィスジャパン 経営管理グループ
IR 担当 若林 TEL 03 - 5275 - 6334



International Financial
Information Service

報道関係者各位

株式会社アイフィスジャパン

平成 27 年 1 月 28 日

「IPO 取材ノート」の Research Manager への

掲載開始のお知らせ

～ グループ連携により新しい付加価値を提供 ～

株式会社アイフィスジャパン（本社：東京都千代田区、代表取締役：大沢和春、以下「当社」）は、1月26日（月）より、株式会社キャピタル・アイ（本社：千代田区、代表取締役：高田一子、以下「キャピタル・アイ」）が発行する「IPO 取材ノート」について、当社が運営するレポート閲覧サービス「Research Manager」にて掲載を開始しました。

キャピタル・アイは日本の資本市場の活動を報道するメディアであり、同社のサービスであるキャピタルアイ・ニュースは、国内・海外での発行体による資金調達や金融機関の引受活動および投資家動向を中心に関連分野の情報発信を行っており、資本市場関係者の中で幅広く購読されています。

キャピタルアイ・ニュースの主な購読者は、証券会社や発行体など、資本市場の関係者が中心ですが、そのコンテンツの1つである IPO 関連の情報は、機関投資家やアナリストなど流通市場関係者も活用できる内容となっております。

当社とグループ会社であるキャピタル・アイが協業し、既存のサービスに新たな付加価値が加わります。顧客の満足度向上と新規顧客開拓に寄与できる取り組みにしたいと考えております。

【IPO 取材ノートの概要】

IPO 取材ノートでは、新規上場銘柄について下記のような内容を記事・レポートとしてまとめています。

会社概要

新規上場会社の基本情報、事業の内容、ビジネスモデルおよび主要顧客など。

株式募集の概要

需要倍率、投資家別の販売アロケーションおよび投資家動向など。

条件決定の背景

発行・売出価格の決定に際して考慮した事項や類似銘柄との比較など。

上場の目的等

当該企業が上場するにあたっての目的、資金使途および上場までの経緯。

上場会見

上場会見の記事。事業の特徴や今後の成長戦略、配当方針など。

Research Manager へ掲載するレポートのイメージは以下をご参照ください。

【銘柄紹介】



IPO取材ノート

MRT (6034)

医師向け外勤紹介サイト、上場で会員数増加を狙う

キャピタルアイ・ニュース
2014年12月22日 12時16分

<問い合わせ先>
株式会社 キャピタル・アイ
TEL:03-6826-4710 (代表)
E-mail: info@ifis.co.jp
<http://ifis.co.jp/html/comenai.html>

MRTが18日に募集期間に入った。26日に東証マーズへ上場する。以下は案件レビュー。

コード 6034
公募株数 40万株
発行総額 25万株
公募・発行総額 600万円
公募・発行総額 5億6400万円
決算日 11月21日
発行決定日 12月17日
上場時価総額 18億600万円
ブックランナー 大和

東京大学医学部付属病院の医師が相互に外勤を紹介する互助組織が母体。この仕組みをシステム化することを目的に、2006年にメフィカルサービスがスタートの一歩を踏み出した。2012年3月には医師業務サポートシステム向けグループウェアの「ネット医師」を提供開始している。

アロケーションは一割チケル8割。機関投資家2割とした。ブックビルデングでは、一割チケルで600億円。機関投資家で170億円となり、全体では500億超の募集が積み上がった。ロードショーは11月26日～28日5日に行い、書面からIPOのロードショーに参加する投資家を中心に35社程度を招いた。

MRTは2014年最後の上場案件。今年は大規模なIPOを計画する企業は例年になりに増えているが、IPO市場の縮小が懸念されている。発行価格(ブックビル)で700円以上を支持する向きが一定数集まったため、発行価格は750~800円と目標を切り上げ上場でブックビルした。機関投資家はエス・エム・エス(1175)やJAG Real Investment(1204)などの人材紹介系の子会社。募集意向はメフィカルサービス(2413)を挙げた向きもあった。会社のPERは28倍、P/Bは21倍、M/Bは75倍、MRTの2015年3月期予想PER(公開価格ベース)は15.94倍。

医師の派遣や人事は、大学病院の医師が主体だったが、医師人事統制力の緩和や医師不足により人材の流動性が高まっている。発行サービスの母体である東京大学医学部付属病院の互助組織が、医師が相互に外勤を紹介する仕組みを創出した。MRTがこれをシステム化した。紹介事業のほかにも、医師の働き方管理システムなどのコンテンツを提供する。「医師の転職紹介(複数所属紹介)は他社でも行っているが、外勤紹介(非複数所属紹介)はほかに例を見ない」発行所。

国内の非複数所属紹介は全体の18.3%。医師の地方偏在によって医師が不足している医療機関や、緊急事態による院内調整の需要から、非複数所属へのニーズは高まっている。医師報酬も、臨床経験や一定のキャリアがないと安収入が得られないため、外勤による報酬が生活の一助となっている。発行時のシステムでは、こうした医師報酬と医師ネットワーク上で転職プラットフォーム。国内の医師約30万人のうち、5%に相当する約1万5000人が登録会員。上場の目的は知名度の向上と発行所で、

【上場会見】



IPO取材ノート

メタウォーター (9551)

メタウォーターの本田社長、「M&A 視野にタイムリーな上場」

キャピタルアイ・ニュース
2014年12月18日 17時43分

<問い合わせ先>
株式会社 キャピタル・アイ
TEL:03-6826-4710 (代表)
E-mail: info@ifis.co.jp
<http://ifis.co.jp/html/comenai.html>

19日、メタウォーターが東証1部に上場した。上場初値は、公開価格(2400円)を4%下回る2308円で、総額は2240億円だった。同社は、日本ガスおよび富士電機システムズがそれぞれの水産部門を売却し、たもとの合併によって発足した。水産部や水産部関係の各種プラントの設計や施工、維持管理を手掛ける。本田社長が東京証券取引所で上場会見を行った。

―総量が公開価格を下回った経緯は
本田社長 質問を受けよめる。電気・ガス業では初めての水産部を手掛ける企業。事業を通じて社会貢献に取り組む。今後、ステークホルダーの期待に応えられるように事業運営をする。

―なぜ今、上場するのか
本田社長 日本は人口の減少に伴い、体の健康が課題となっている一方で、地方都市では産業不足で医師を維持することが難しく、高度医療が受けられず医療が劣化しているのが現状だ。こうしたなか、公費負担がコンセンサスが得られない。

―M&Aの必要性があるが、今年も継続的に成長するためにには運営に際する企業には必要がある。そのためには確立していない部分があったため、会社との提携やM&Aも視野に入れている。また、コンセンサスが得られなかった場合、今後業績を買い上げるため、近い将来に10~100億円単位の資金が必要になる。M&Aや資金調達が必要から、この時期に上場したのにはタイムリーと言えよう。

―M&Aの期待感の不安は
西尾副社長 国内でM&Aを行う予定、100億円規模の買収なし、資本提携を検討している。海外展開については、会社の高い技術を受け入れられる先進国をターゲットに、長期的に狙っている。

―強みは
本田社長 国内の水産部設計の4割に相当する2000施設に機械・電気設備を納入した実績がある。これは日本ガス、富士電機時代から蓄積したノウハウによるもの。同社は、水に溶ける機械設備と電気設備を融合する目的から発足しており、両者が持つそれぞれの強みを効果的に活用することができ。

―今後の期待
本田社長 今後の案件にもよりますが、コンセンサスの市場は2020年代に1900億~2000億円になると見ている。包括買収のフロントランナーとしてシェアを確保する。

―総務部長
本田社長 配付意向は20~30%をM&Aに想定している。

[キャピタルアイ・ニュース 森岡 卓哉]

株式会社アイフィスジャパンについて

上場市場：東京証券取引所 第二部（証券コード：7833）

代表者：代表取締役 大沢和春

所在地：東京都千代田西神田3-1-6 日本弘道会ビル4F

設立：平成7年5月

資本金：3億8,201万円（平成25年12月31日現在）

従業員数：連結138名、単体69名（平成25年12月31日現在）

主な事業の内容：金融情報サービス

- ・証券調査レポートの電子配信サービス
- ・企業業績予想およびコンセンサスデータの提供サービス
- ・金融・財務関連ドキュメントの制作およびプリンティングサービス

ホームページ：<http://www.ifis.co.jp/>